

タクシー業界の取り組みについて

～今後新たに取り組む事項について～

(注意事項)

- 本取り組みは、全国各地域の実情・実態に応じて、「出来る地域」「出来ることから」を基本に、タクシーの活性化及び需要喚起を目的に取り組むものです。

平成28年10月12日

一般社団法人 全国タクシー・ハイヤー連合会

1. 初乗り距離短縮運賃	1
2. 事前確定運賃	2
3. 相乗り運賃（タクシーシェア）	3
4. ダイナミックプライシング	4
5. 定期運賃（乗り放題）タクシー	5
6. ユニバーサルデザインタクシー（UD）タクシー	6
7. 相互レイティング	7
8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス	8
9. 乗合タクシー（交通不便地域対策・高齢者対応・観光型等）	9
10. 第2種免許緩和	10
11. タクシー全面広告	11

1. 初乗り距離短縮運賃

[概要]

初乗り距離を短縮することによる初乗り運賃の引き下げを行うことにより、乗りやすいタクシーの実現へ
[期待出来る効果]

・チョイ乗り需要の喚起(高齢者・若年層、訪日外国人等) ・既存のお客様も利用し易い体系

(例) 東京2km730円→1km400円台へ

■実証実験: 8月5日~9月中旬にかけて40台にて実施!!

■開始時期: 早くも12月・遅くても平成29年4月に実現!!

初乗り1.0km410円
平成29年1月30日スタート

マスコミ報道例



H28.4.5朝日新聞(朝刊)



H28.4.5朝日新聞(朝刊)



H28.4.5東京新聞(夕刊)



H28.4.6日経新聞(朝刊)

1. 初乗り距離短縮運賃(名古屋交通圏の取り組み)

「中型車初乗1.264km・500円」「小型車初乗1.264km・480円」を「普通車初乗り1.05km・450円」に改定
 ≪平成29年4月21日実施≫ ※金額はいずれも上限運賃の例

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

中部運輸局
自動車交通部

平成29年3月23日

連絡先 中部運輸局自動車交通部
 幹事室 二ツ野 野村、江口、黒田
 Tel. 052-957-8036

名古屋地区におけるタクシーの運賃改定
 — 査定結果に基づき公道幅運賃を公示 —

平成28年5月6日から同年8月5日まで、82社(5,257両)から提出されておりました名古屋地区(下の営業区域図参照)におけるタクシーの公道幅運賃の変更案(運賃改定)について審査した結果、昨日付(平成29年3月22日付)で査定結果に基づく改定後の公道幅運賃を公示しましたのでお知らせします。

1 改定の概要

(1) 増収率 7.36%

(2) 新公道幅運賃(普通車)上限運賃額を抜粋

(新)	普通車	初乗運賃	1.05km	450円
		加算運賃	2.35m	80円
(旧)	中型車	初乗運賃	1.264km	500円
		加算運賃	2.46m	80円
	小型車	初乗運賃	1.264km	480円
		加算運賃	2.76m	80円

① 公道幅運賃の範囲(別添1)及び自動認可運賃額(別添2)

② 収支実績及び推定収支(別添3)

③ 新旧運賃比較(別添4)

2 運転者の労働条件の改善について

今回の運賃改定案は、運転者の労働条件の改善が主要な理由にあげられていることを踏まえ、タクシーサービスの質を維持するためには、運転者の労働条件について一定の水準を確保することが必要であることを踏まえ、突発における運送収入に対する運転者に対する割合を維持した上で、健全な経営が成立する水準の運賃を決定するという考え方に基づき査定を行ったところであります。

このため、今回の運賃改定(公道幅運賃の範囲の変更)実施により、運転者の労働条件の改善が適切に図られるよう、名古屋タクシー協会に対して「適切な運賃等の労働条件の改善措置を講ずること」(運転者の労働条件の改善状況及び適した措置等を自主的に公表すること)について指導をすることとしております。

3 運賃改定に伴う制度変更

今回公示した運賃は、現状のタクシー運賃率区分区における中型車及び小型車について、車両価格差が僅少であること、タクシー車両が多様化・多様化していることから、中型車と小型車を統合する内容となっております。

また、初乗距離を短縮(1.264kmから1.05km)することにより初乗運賃額を抑えた内容となっております。

4 公道幅運賃の範囲の見直しについて

名古屋地区の公道幅運賃については、公道幅運賃制度が定着してきたことを踏まえ、下関割れ事業者の経営実態を考慮し、運賃改定時に下限運賃の見直しを行うこととしていたため、今回公示した公道幅運賃の上限運賃は下関割れ事業者の運賃原価を考慮した内容となっております。

5 今後の予定

新運賃実施日 平成29年4月21日(金)

2.事前確定運賃

[概要]

配車予約時に依頼場所、目的地を提示いただき
確定運賃情報を事前にお知らせする。

- ・乗車場所はGPSから現在地を取得
- ・目的地は地図上で指定
- ・メーターによらない運賃算出方法を新設

→ これにより事前運賃を割り出すことが可能。

[期待出来る効果]

- ・事前に運賃がわかることにより、安心感が生まれる。
- ・UBERでは事前確定は出来ていない。
(おおよその運賃情報の提供はある模様)

メーターと事前確定運賃の 安い方で精算

(メーターも起動させお客様にとって
最も安い運賃で精算していただく。)



2.事前確定運賃(国土交通省の取り組み)

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成29年7月28日
自動車局旅客課

渋滞やメーターを気にせずタクシーを利用できます
～タクシーの事前確定運賃に関する実証実験について～

8月7日(月)より、配車アプリを活用してタクシーに乗車する前に運賃を確定させるサービスの実証実験を行います。
確定後は、渋滞などが生じても運賃は変わりません。降りる直前でメーターを気にする必要もなくなります。

タクシーに乗車する前に運賃を確定させる「事前確定運賃」は、配車アプリを活用して、「渋滞や回り道等により運賃が高くなるかもしれない」「到着するまでメーターを気にしなくてはいけない」という運賃に関する不安をなくし、タクシーを呼びやすくすることを狙っています。

今回の実証実験では、事前に確定した運賃が実際の走行に照らして適切であったかどうかの検証や利用者アンケート等を行い、結果を踏まえて必要な制度を検討していきます。

このような取組を通して配車アプリの利便性を高め、普及を促進することにより、タクシーの空車走行を減らし、生産性を向上させることを目指していきます。

記

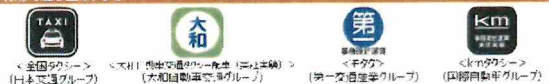
1. 期 間 平成29年8月7日(月)午前9時～平成29年10月6日(金)
※10月6日中に配車依頼された運送も対象。
2. 場 所 東京都特別区、武蔵野市、三鷹市
3. 車 両 数 4,048両(参加事業者・各事業者の台数・利用可能配車アプリは別紙1のとおり)
4. 利用方法 配車アプリを通して、乗車地、送車地を入力して事前予約・配車依頼することで利用できます。詳しくは別紙2を参照ください。

【問い合わせ先】
自動車局旅客課 佐藤・鈴木(代表) 03-5263-8111(内線41242、41243)
(直通) 03-5263-8689 (FAX) 03-5263-1636

事前確定運賃の利用方法等について

別紙2

利用可能な配車アプリ



- 各配車アプリは「App Store」・「Google play」からダウンロードできます。
- タクシーへのアップロード開始時期は、アプリはiOSによって異なります。
- ・「全国タクシー」 8月1日よりアップロード開始
 - ・ 乗客 14kmタクシー、8月7日よりタクシーロード開始
 - ・ 大和自動車交通タクシー配車 (Android)は8月7日より、iOS/Android (予定)よりダウンロード開始
- 大和自動車交通タクシー配車は平日の乗車予約のみ対応し、事前の乗車予約は9時5分までです。
- 全国タクシーは予約から1日の事前予約が必要となります。(支払方法はクレジットカード・現金のみ)
- アプリの上記事業者は現在の上記の通りで配車予約・配車依頼を行うて下さい。
- アプリのアンケートを申請していただきます。今後の制度構築の参考にさせていただきます。

事前確定運賃のイメージ

- 上記配車アプリを通して、乗車地、送車地を入力して事前予約・配車依頼することで利用できます。
- 事前確定運賃は、配車アプリの地図上の走行経路、予約所要時間、送車料金を念頭に算出されます。
- 事前確定運賃が5,000円以上(送車料金を含む)となる運賃にのみ利用できます。
- 利用者が指定した目的地は、配車アプリは以下を条件として算出されたものであることを要件としています。
 - ・ 実証実験期間中の事前確定運賃の走行メーター画面の距離は2%以内であること
 - ・ 目的地の周辺において、事前確定運賃が距離運賃の1.3倍以上高くないこと
- 事前確定運賃で配車を予約した場合、メーターは起動しませんが、万一途中で運賃が変更される場合は、送車料金を追加して乗車地から目的地までのメーター運賃を算出します。
- 送車料金は、メーター運賃より高くなる場合があります。
- 送車料金は、メーター運賃より高くなる場合があります。
- 送車料金は、メーター運賃より高くなる場合があります。

走行距離: 約6.5km
所要時間: 約40分

【事前確定運賃(イメージ)】
運賃 2,730円
送車料 410円
合計 3,140円

3.相乗り運賃(タクシーシェア)

[概要]

運賃は乗降地点によりシェア出来るシステムの構築

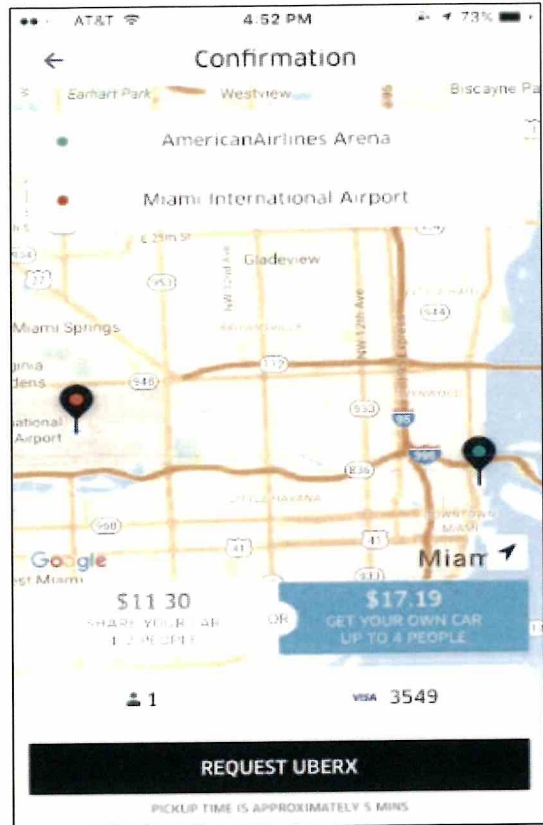
[期待出来る効果]

- ・実乗車部分の負担の精算が容易になり便利
- ・タクシーの需給が切迫している際相乗りによるマッチングが可能

- 空港への相乗り
- 朝の通勤時間帯での相乗り
- 雨天時での相乗り

* カリフォルニアでは

UBER(**uberpool**(サービス名))の売上の**50%**と言われている。



3.相乗り運賃(タクシーシェア) (国土交通省の取り組み)

3.相乗り運賃(タクシーシェア) (名古屋交通圏の取り組み)

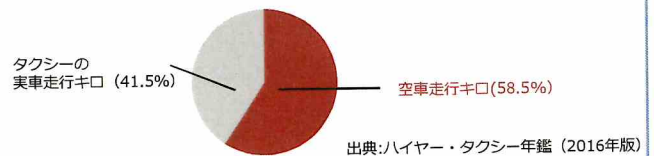
国土交通省HPより(平成29年度当初予算)

事業概要

ICTを活用した新サービスの実現に向け、**制度設計のための実証実験等**を実施

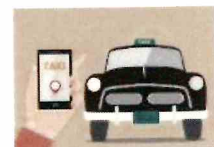
背景・必要性

- タクシーの実車率を向上させ、低迷するタクシー需要を喚起するためには、利便性の高い配車アプリの普及が不可欠。



実証実験・調査等の概要

- 配車アプリを活用し、
 - 配車時に運賃が確定する**運賃事前確定サービス**
 - 効率的で割安な運送を可能とする**相乗りサービス**の実証実験等を行う



効果

- 利用者の運賃に関する不安の払しょく・**利便性の向上**
- 運送の効率化による**生産性の向上**・利用者の選択肢の増加・割安な運賃でのサービス提供

【東京(特別区・武三)地区】相乗りタクシー実証実験概要(予定)

- 実施期間:平成30年1月下旬から3月中旬までの2カ月間弱
- 主な実験内容
 - ①配車アプリ上で乗降車地設定者同士マッチング・相乗運送
 - ②事前確定運賃(迎車回送料金なし)とする
 - ③キャンセル料等を設定可能とする

名古屋地区においても
実験予定

4.ダイナミックプライシング

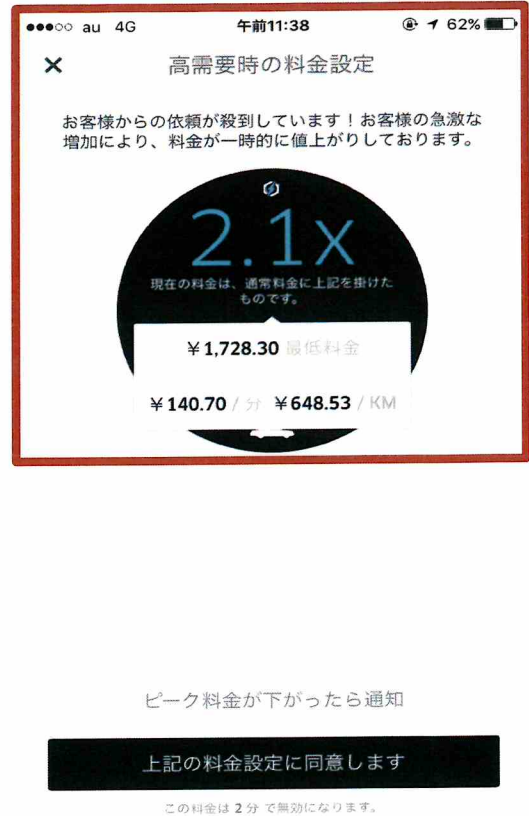
[概要]

繁忙時・閑散時によるタクシー運賃の流動的な体系。

[期待出来る効果]

閑散時においては、利便性の向上と需要増
繁忙時においては、營收の増加

通常運賃	混雑時	閑散時
初乗り 730円(2Km)	混雑状況 (雨天時、ラッシュ アワーetc)に応じて 運賃変動	閑散状況 (昼間etc)に応じて 運賃変動
	運賃の 10-50% 値上げ	運賃の 10-50% 割引



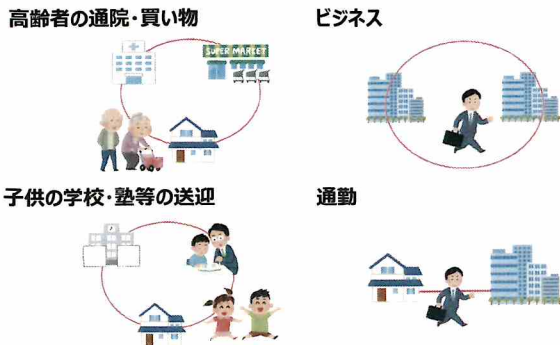
4.ダイナミックプライシング(国土交通省の取り組み)

国土交通省HPより(平成30年度予算概算要求)

- ドライバーの労働環境改善のため、新しいサービスの導入により利用者利便を向上させ、需要喚起を図るとともに、配車アプリを活用したタクシーの運行効率化により生産性向上を図る。

定額(乗り放題)タクシー

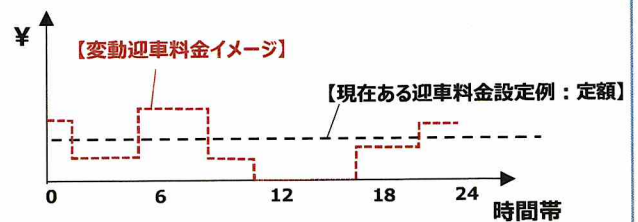
- 鉄道の定期券のように、対象者・エリア・時間帯を限定した定額タクシーの実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。



効果 割安にタクシーを利用できることによる
利便性向上・需要の喚起

需要に応じた変動迎車料金

- タクシーを配車依頼した際にかかる迎車料金について、配車アプリ等を活用し、繁忙時間帯と閑散時間帯で変動する迎車料金の実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。



効果 繁忙時間帯の労働環境改善・
納得感のある料金設定、利便性向上

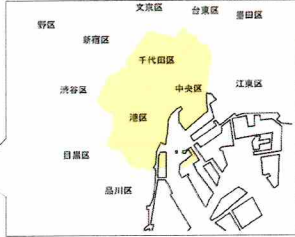
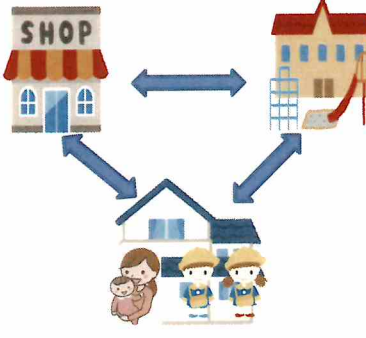

5.定期運賃(乗り放題)タクシー

[概要]

対象者・エリア・時間帯を限定した定期制度の導入を目指す。(各シーンに合わせた定期制度)

[期待出来る効果]

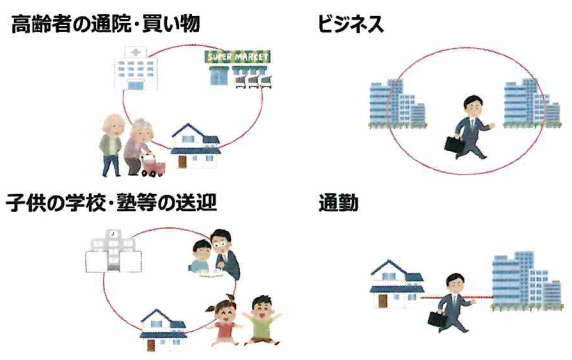
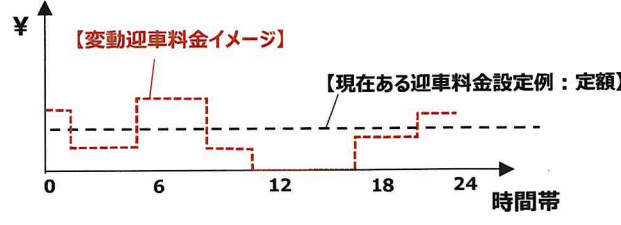
- ・ビジネスマン等のヘビーユーザーの更なる利用増及び定期利用による新たな顧客の獲得
- ・高齢者や子育て世代が運賃を気にすることなく、日常の足として「ドアtoドア」のタクシーの利用が可能になる

<p>■ビジネスマン (9時～17時等)</p>  <p>千代田・港区・中央区などの ビジネス街での周遊 [経費精算業務の軽減]</p>	<p>■子育て世代 (9時～14時等)</p>  <p>自宅～保育園・幼稚園 ～買い物 3区間を周遊 [重い荷物からの開放]</p>	<p>■高齢者 (9時～14時等)</p>  <p>自宅～病院～買い物 3区間を周遊 [ご家族への負担軽減]</p>
--	--	--

5.定期運賃(乗り放題)タクシー

国土交通省HPより(平成30年度予算概算要求)

- ドライバーの労働環境改善のため、新しいサービスの導入により利用者利便を向上させ、需要喚起を図るとともに、配車アプリを活用したタクシーの運行効率化により生産性向上を図る。

<p>定額(乗り放題)タクシー</p> <p>□ 鉄道の定期券のように、対象者・エリア・時間帯を限定した定額タクシーの実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。</p>  <p>効果 割安にタクシーを利用できることによる 利便性向上・需要の喚起</p>	<p>需要に応じた変動迎車料金</p> <p>□ タクシーを配車依頼した際にかかる迎車料金について、配車アプリ等を活用し、繁忙時間帯と閑散時間帯で変動する迎車料金の実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。</p>  <p>効果 繁忙時間帯の労働環境改善・ 納得感のある料金設定、利便性向上</p>
--	--

6.ユニバーサルデザイン(UD)タクシー

[概要]

- ・車椅子のまま乗車出来る仕様
- ・トランク収容量も多い

[期待出来る効果]

通常のお客様だけでなく高齢者、障害者、訪日外国人等の方にも優しい。



・東京都では2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに

61億円の予算(10000台導入目標)をいただきました。

・国土交通省からも「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」という形でご支援をいただいております。

・他地域においても導入促進のためには、自治体や国の援助が必要不可欠かと思われます。

6.ユニバーサルデザイン(UD)タクシー(「国」及び「名古屋交通圏」の取り組み)

1. 名古屋交通圏内導入予定車両数(平成29年3月要望調査時点)

- 名古屋市内260台、名古屋市外16台
- 名古屋交通圏の車両数の20%をユニバーサルデザインタクシーにする(目標)

2. 平成29年度国土交通省「UDタクシー導入補助」※平成29年8月31日時点

- 国土交通省は予算の制約から補助要件を厳格にして全国の補助台数を制限(1台60万円) ※全国の補助台数(次頁)
- 全国の補助対象車両数(911台 * 1台60万円)
- 名古屋交通圏要望事業者1社1台配分=補助対象車両数(91台)
- 地域との連携枠(予算措置等)を設けて1社1台追加配分

3. 名古屋市の補助・予算確保について

- 名古屋市内(87台「内、個人タクシー2台」)
⇒名古屋市は国土交通省の補助を要件に補助対象(平成29年度新規予算措置)
- 名古屋市内(87台)については、国(1台60万円)及び名古屋市(1台20万円)の補助対象となる
- 名古屋市外(4台)「清須市2台」「瀬戸市1台」「東郷町1台」については国単独補助(各社1台)
- 愛知県及び名古屋交通圏内各市町村の補助制度(予算確保)によりUDタクシーの導入促進(導入支援要望)

4. 平成30年度・国土交通省予算概算要求

- **自動車事故被害者の保護の増進等に向けた公共交通の利便性向上の促進**

【要求額: 980百万円】

- ✓ 自動車事故被害者の日常生活支援等として、バス・タクシー事業者等の利用者利便向上のための車両購入等について補助する。
- ✓ 自動車事故被害者の利便性の向上を図るとともに、高齢運転者による事故の防止に向け公共交通の利用促進を図るために車両購入等を行うバス、タクシー事業者等に対する補助。

(参考)全国のユニバーサルデザイン(UD)タクシー導入補助

(平成29年8月31日時点)

(別紙1)

H29年度UDタクシー配分台数(総括表)

運輸局	① 主要都市及び特措法計画 合意済地域		② 地方公共団体と連携した普 及・活用促進取組地域		③ ①又は②に 該当する15歳以上 の要望事業者	合計 (①+②+③)
	営業区域名	1事業者当たり 1台配分	地方公共団体	1事業者当たり 1台配分	1事業者当たり 1台配分	
北海道	札幌交通圏	29	札幌市	24	7	60
			旭川市	4		4
			士別市	1		1
	運輸局小計	29		29	7	65
東北	仙台市	22				22
	秋田交通圏	6				6
			五所川原市	1		1
	運輸局小計	28		2	6	30
関東	神奈川交通圏	183	東京都	189	53	440
	南多摩交通圏	15	横浜市	9		30
	京浜交通圏	20	川崎市	1		18
	関東中央交通圏	13	さいたま市	3		49
			千葉県	49		535
		運輸局小計	231		251	53
北陸信越	長野交通圏	0				0
	金沢交通圏	0				0
			富山県	6		6
	運輸局小計	0		6	0	12
中部	名古屋交通圏	56	名古屋市	33	2	91
			静岡県	31	1	32
			多治見市	1		1
	運輸局小計	56		65	3	124
近畿	大阪府域交通圏	22			5	27
	京都府域交通圏	10			2	12
	神戸府域交通圏	7			0	7
	運輸局小計	39		0	7	46
中国	広島交通圏	12				12
			倉敷市	3		4
			隠岐の島町	2		2
	運輸局小計	12		5	1	18
四国	松山交通圏	6				6
	福岡交通圏	32			2	34
	北九州交通圏	15				15
九州	大分市	4			1	5
	熊本交通圏	0				0
					3	54
	運輸局小計	51			1	21
沖縄	沖縄本島	20				20
	合計	478		358	75	911

※赤字は特措法計画合意済地域
※○は再掲

- ① 名古屋交通圏補助要望事業者 1社1台配分
- ② 地域との連携枠(名古屋市予算措置) 1社1台配分
- ③ 15台以上導入事業者特別枠 1社1台配分

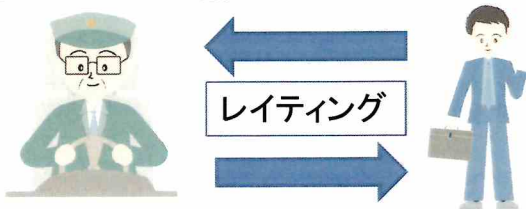
7.相互レーティング

[概要]

お客様から乗務員の評価をいただくことは勿論、乗務員もお客様の評価を行える。

[期待出来る効果]

お客様は乗務員の選択性の向上、サービスの向上
乗務員は不審なお客様を排除することが可能
双方のマッチングを強化



配車予約時にドライバーの
顔写真、名前、車種、
ナンバープレート・5段階評価
を知る事が出来る！

アプリ内ではドライバーからの自分の評価を確認することも出来る。



乗務員がすでに評価されています
Uberからのメールを受け取れます
連絡先を変更できます
アカウントが他人に利用されています
評価について知りたい

8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス

[概要]

増加する訪日外国人等の富裕層の需要に対応するため、高級車両・一定水準の接遇ができる乗務員によるサービスを充実。

[期待出来る効果]

- ・訪日外国人等の新しい需要の取り込み
- ・訪日外国人の日本滞在期間の快適度・満足度の向上

イメージ

- ハイグレード車両の提供
- 語学研修・接客研修を修了した乗務員の配備
- ICTを活用した配車予約・乗務員評価の実施
- Wi-Fi設備の配備
- 多言語対応タブレットの設置
- 専用乗り場（空港、鉄道駅）
- 付加価値に見合った運賃料金設定



(参考)

- ・平成28年3月観光ビジョン構想会議決定「明日の日本を支える観光ビジョン」及び平成28年4月新しいタクシーのあり方検討会とりまとめ「タクシー革新プラン2016」において「プライベートリムジン」の導入が提起されている。
- ・京都における訪日外国人向けタクシー「フォーリンフレンドリータクシー」の取組では、乗務員（外国語及び接客研修を受講）及び車両（大型スーツケースが2個以上搭載でき、各種クレジットカード及び交通系ICカードが利用可能）の認定、専用乗り場の設置が行われている。

8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス(国土交通省)

国土交通省HPより(平成29年度当初予算)

ii) インバウンド需要等に対応するための富裕層向けサービスの向上

事業概要 訪日外国人等をターゲットにした『プライベートリムジン』の全国展開に向け、**認定基準策定のための調査等**を実施

背景・必要性

- 訪日外国人数の増加・消費額の拡大を実現するため、特に富裕層向けサービスを充実させることが必要。
- 現在のリムジンサービスは都市部の法人向けが主であり、全国で個人が利用できるサービスが必要。

認定基準 (イメージ)

- サービス基準 (ICTを活用した配車・運転手評価、Wi-Fi、語学・接客等)
- 安全評価基準 (安全性、事故防止の取組等)



『プライベートリムジン』 (イメージ)

効果

訪日外国人の日本滞在期間の**快適度・満足度の向上**。国内における**消費額の拡大**。

8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス(名古屋交通圏)

- 既に一部の事業者では、セダン型&ワゴン型ハイグレード車両の導入を行っています。
- 名古屋市を中心としたエリアでは「リニア開業」「名古屋城天守閣木造建築」などにあわせて、富裕層の需要に拘ることのない観光タクシーの需要にお応えする各種取り組みを進めて参ります。
- また、名古屋市外の観光関係では自治体の皆様方と連携した取り組みを進めるとともに、インバウンド対応に係るサービスの充実に取り組んで参る予定です。

9. 乗合タクシー

[概要]

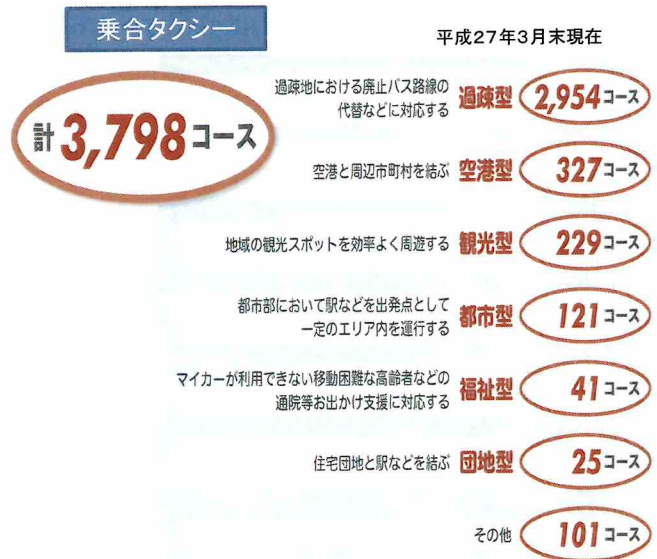
- ・乗合タクシーは、ワゴン型やセダン型のタクシー車両を使った乗合型の公共交通。
- ・主に、バスが運行できない過疎地域等において生活交通を確保するために運行されている、このほかに空港と周辺市町村を結ぶ空港型等もある。
- ・乗合タクシーには、バスのように定時・定路線で運行する路線定期型のほか、路線及び運行時刻は定めず事前予約による自宅から訪問先等の利用者の要望に応じてドア・ツー・ドア等で運行するデマンド型乗合タクシーもある。

[今後の取り組み]

- ・乗合タクシー事例集を活用して地方自治体への発信と連携の強化
- ・IT活用による効率化

[期待出来る効果]

- ・過疎地域等における生活交通の確保
- ・新しい需要の取り込み



9

9. 乗合タクシー(全国各地の導入事例)

名古屋タクシー協会ホームページ(TOP) <http://www.meitakyo.com/> で、全国各地の導入事例を紹介しています(ダウンロードできます)。



- 名古屋タクシー協会では、地域の交通事情・タクシー事業者・事業所・配置車両などに応じた「タクシー車両を活用した公共交通の提案」が可能です。
- タクシー事業者(事業所)が域内にいない市町村の皆様にもご提案できます。
- タクシーの活用事例をご確認いただくとともにタクシーによる地域交通をご検討願います。

10. 第2種免許緩和

[概要]

- テレマティクス活用による常時運行管理
 - 個々の運転情報のフィードバック強化による安全面の向上
- [第2種免許取得資格]

■年齢:21歳→19歳 ■経験:3年→1年

→ICTを活用することにより安全面を強化し、第2種免許取得緩和を目指します。

[期待出来る効果]

若年層・女性ドライバーが増加

新卒ドライバー



女性ドライバー・経営者・国土交通大臣との懇談会



⇒政府が進める「規制改革推進会議」では第2種免許の受験要件(受験年齢の引き下げ)緩和に向けた実験が予定されています。

10

11. タクシー全面広告

[概要]

地域によって、車体への広告掲載場所が制限されています。(特に東京では4つドア・屋上のみ)

[期待出来る効果]

・広告収入による、タクシー経営基盤の安定化。

東京の現状

4つドア・屋根上のみ



緩和案

都内で運行が認められなかったアニメイラストを施したタクシーや外国での全面ラッピングタクシー



11